



↑受賞した山口さん（上）の「くしきの号」と、会場で審査を受けた宮路さん（下）の「みつひめ号」

第61回鹿児島県畜産共進会 出品牛3頭が優秀賞を受賞

第61回鹿児島県畜産共進会が9月29日、姶良中央家畜市場で開催されました。

この日は、出水地区の代表として本町から3頭が出品。今年の秋季畜産共進会でも優秀な結果を出した、若雌一区に山口正成さんの「たつごう号」と宮路幸雄さんの「みつひめ号」が、若雌二区に山口正成さんの「くしきの号」が選出され審査されました。

大会結果は、見事3頭とも優秀賞を受賞し、山口さんと宮路さんは「愛情と手入れしたかいがありました。今後も上位を目指したい」と喜びを声にしました。

九州ブロックPTA研究大会

県代表で崎迫正一さんが発表

佐賀県唐津市で第57回九州ブロックPTA研究大会が、10月27日から28日にかけ開催され、川床中学校PTAの崎迫正一会長が鹿児島県代表として事例発表を行いました。

崎迫さんは「全員参加のPTAの組織づくりを目指して」と題し、川床中学校のPTA活動を紹介。長島町の伝統行事である鉦踊りや造形美術展、同校の長島一周強歩大会などへの取り組みを発表しました。発表後は、同校のPTA会員数が減少する中での組織改革と、参加しやすい活動成果が評価され、参加者からたくさんの質問を受け答えっていました。



川床中学校のPTA活動について発表する崎迫さん↑

↓出水中央家畜市場での出発式で応援に駆けつけた川添町長（左から2番目）と中山さん（右から2番目）



犬鹿倉の中山正美さんが挑戦

第10回和牛能力共進会が、10月25日から29日にかけ長崎県佐世保市のハウステンボスをメイン会場にして行われました。

この大会は、全国の優秀な和牛を5年に1度、一堂に集めて優劣を競う大会で、雄牛・雌牛の和牛改良の成果を競う「種牛の部」と肉質を競う「肉牛の部」に各道府県から選抜された約500頭が出品されました。

本町からは犬鹿倉集落の中山正美さんが2頭出し、「幸太号」が総合2位に、「幸太郎15号」が肉牛部門で3位の高成績を収めました。